

1 単元名 人間の尊重と日本国憲法

「個人と社会生活」(全3時間)

白川町立白川中学校 小森 明彦

2 単元のねらい

人間は本来社会的存在であることに着目させ、家族や地域社会の一員として、個人が社会とどのようにかかわりながら生活しているのか具体的に考えさせる。

ルールや規則をつくるには、様々な考えを持つ人々が十分に話し合い、互いに納得して合意できる内容にしていく努力が必要であること、そうしてつくられたルールや規則は責任をもって守ることなどを、具体的な事例を通して気づかせる。

3 単元で培いたい学び方

家族や社会とどのようにかかわっていくべきかを理解し、家族と社会に対する関心を高め、個人と社会とのかかわりに対する見方を深める考え方

4 内容のまとめりごとの評価規準 公民的分野の内容(1)イ 「個人と社会生活」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
個人と社会とのかかわりに対する関心を高め、それを意欲的に追求し、個人と社会生活について考えようとしている。	現在の家族制度、社会生活における取り決めの重要性について多面的・多角的に考察し、個人と社会生活について様々な立場から公正に判断している。	個人と社会とのかかわりに関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、追究し考察した過程や結果をまとめたり、説明したりしている。	家族との生活、学校や地域社会での生活を通して行動様式や生活様式を身につけ、交流や相互扶助、生活環境の整備を行い、お互いの生活の向上や改善を図っていることを理解している。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	今日の多様化する家族の特徴や男女共同参画社会に関心をもち、個人の問題としてとらえるとともに、個人と身近な社会集団とがどのようにかかわっているか、具体的に考えている。	家族や個人と社会の問題について、自分たちの将来と関連づけて、さまざまな角度から話し合うとともに、よりよい社会生活を送るためにはお互いがルールを守ることの大切さについて考えている。	統計資料・写真資料等をもとに、家族や個人と社会の問題等の特徴や課題について、自分の追究活動に必要な資料を収集し、課題追求に活用している。	現在の家族の基本となっている「個人の尊厳と両性の本質的平等」の考え方や、男女共同参画社会の実現に向けての基本的な考え方を理解するとともに、個人が結びついて社会が生まれ、社会生活が営まれていること、社会生活を円滑にするために互いの合意に基づいてルールがつけられていることを理解している。
学習活動における具体的評価規準	現在の自分の家族、将来の自分の家族を描き、家族の問題を自らの思いをもとに発表している。 【第1時 発言内容】	社会におけるルールの必要性について、人と人を結びつける観点から、その大切さについて考察している。 【第3時 ノートの記述】	統計資料・写真資料等を活用しながら、現代家族の問題について、自分の考えをまとめている。 【第2時 ノートの記述】	「個人の尊厳と両性の本質的平等」の考え方や、男女共同参画社会の実現に向けての基本的な考え方を理解している。 【第1時 ノートの記述】